

- ②……開館 30 周年記念展のご報告
- ⑤……貸ギャラリーのご案内
- ⑥……リア美のシリーズ展について
- ⑦……企画展案内／気仙沼市への移管について
- ⑧……ご利用案内／お問合せ先

まるごと
"リア美"

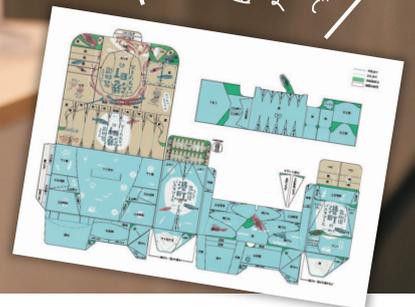
発行／気仙沼・本吉地域広域行政事務組合
(気仙沼市赤岩五駄鱈 43-2／TEL:0226-22-9111)

リ又蔵品が
増えました

開館 30 周年記念展に出品された
ご当地パッケージクラフト※作品が
高橋和真さんから寄贈されました。



なんと！
図面まで



ぼてとスティックモアイ



たこ天オクトパス君



さんまつくだ煮ザメ



パスタソースのホヤぼーや



※パッケージクラフト
空き箱の柄や色を巧みに用いて立体物を
制作する高橋和真考案のペーパークラフト。
「パッケージ単体以外はほぼ使用しない／余さず使う」
などの制約がある。

地元発信デザイン解説展示



気仙沼・南三陸地域発信の20種類のデザインとデザイナーによる解説パネルが並んだ

開館30周年記念展の〝報告

本号は、「リア美特集号」の第5弾となります。これまで当館の施設概要や見どころ、事業内容、また、当館の「教育普及事業」の活動内容や常設展のこと、さらに開館30周年を迎える当館の近年の取

り組みなどを紹介してきました。今回は開館30周年記念事業のご報告や貸ギャラリー事業などについてご紹介いたします。前号と併せて保存版としてご利用ください。

- 1994
- 1995
- 1996
- 1997
- 1998
- 1999
- 2000
- 2001
- 2002
- 2003
- 2004
- 2005
- 2006
- 2007
- 2008
- 2009
- 2010
- 2011
- 2012
- 2013
- 2014
- 2015
- 2016
- 2017
- 2018
- 2019
- 2020
- 2021
- 2022
- 2023
- 2024
- 2025

「リアス・アーク美術館開館30周年記念展企画ワークショップ」がプロデュースした展覧会「デザインってなんだ？〜グラフィックデザインとひと・まち・くらし」が令和6年秋に開催されました。

展示部門では、【①デザインってなに？】②株式会社横田屋本店レトロラベルの魅力③地元発信グラフィックデザイン大解剖④昭和レトロデザインの魅力⑤高橋和真パッケージグラフィックの世界⑥グラフィックデザインコンテスト入賞・入選作品展」という6つのトピックを設けコーナー分けして展示しました。

また、催事として【⑦プレ展「展覧会ポスターに見る30年の歩み」⑧資料展「開館30周年記念展企画ワークショップ活動の記録展」⑨シンポジウム「強く優しく美

しいまちをデザインする〜過去・現在・未来をつなぐ関係構築のために〜ワークショップ「デザイン制作体験」●グラフィックデザインコンテスト●フォトスポットの設置●レストランコラボメニュー提供●オリジナルミュージアムグッズ販売」等を実施しました。

本展や催事の企画立案は、令和4年度より継続開催した「開館30周年記念展企画ワークショップ」によるもの。当館のこれまでの活動をベースに考案された本企画にて今後の当館や地域について考察する機会となりました。



株式会社横田屋本店の魅力的な旧ラベルの数々

パッケージクラフト作品展示



作家の高橋さんが、気仙沼『港町のバスターソース』の箱でサメに乗ったホヤぼーやを作ってくれたよ！

パッケージクラフト作家高橋和真のご当地パッケージ作品が図面付きで登場！



昭和レトロ展

懐かしがる人続出！



フォトスポット



※お客様からの声より

地元デザイナーの解説でデザインの大切さを、高橋和真さんの作品から発想力とユーモア、計画の大切さを知りました。昭和家電・雑貨や当時の資料からデザインの魅力と奥深さを知りました。展覧会企画ワークショップの活動から人々が協力して企画を練る大切さと、若い人たちの計り知れない力を感じました。



シンポジウム



60人が参加したよ！

缶バッジ制作

デザインをテーマに人・まち・暮らしを考察。

「今後も地域にデザインやアートの思考は不可欠ですね」



ご希望の方に
記録パンフレット
差し上げます



デザインブックは
300円で販売中

豊富な展示品

数多くの実物資料・写真・作品・解説パネル等が並んだ。



各デザイナーによるデザイン解説パネル

盛りだくさんの催事

プレ展/デザインコンテスト/ワークショップ活動報告展/ミュージアムグッズ製作/販売/缶バッジ制作ワークショップ/フोटスポット設置/シンポジウム等が催された。



レストランとのコラボメニュー「大人のお子様ランチ」ほか数種を提供



コンテスト入賞作品がミュージアムグッズのデザインとなった

入賞作品の3点。
ショッピングバッグ、トートバッグ、マグカップ、クリアファイルのデザインとなった。



展覧会企画ワークショップの活動

高校生を主体とする12名のメンバーからなる本ワークショップは、令和4年から会期中まで活動した。企画・催事の構想・立案や各種デザイン・イラストの制作、展示作業、バッジ制作対応などをメンバーと学芸員が共同で行った。



催事の内容を決定する会議

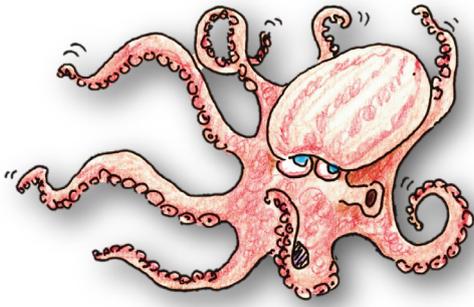


レストランの卓上メニュー表 制作作業



プレ展「ポスター展」の展示作業





コモンホール・エントランスホールを
展示スペースとして貸し出します。
普段制作している絵画や写真、
手芸などの作品やコレクションを
発表してみたいはかが？

過去の展示例

子ども絵画展



猫写真展



山野草展



トランペットコンサート



絵本原画展

一日あたり千円〜と、画
廊等に比べると格安！
学芸員が展示作業をお
手伝いします！
お気軽にご相談・ご
利用ください。

他にも講演会やコン
サート、イベント会
場として、午前・午後
と分けて使用できる
ハイビジョンギャラ
リーもご利用いただ
けます。

貸ギャラリーの手順

①まずはご相談ください！

期間・種別・範囲・数量・
展示方法など、ご希望
内容をお伺いします。



④搬入・展示作業 展示作業は学芸員が お手伝いします



⑤展示(会期中) 受付・作品等管理

- 来場者への対応
- 来場者数の
カウント
- 作品・資料
管理



②使用概要説明と 展示内容の決定

ヒアリングで
展示物の
内容などを
決定します。



③事務手続き

施設使用許可申請書を
提出(後日当館から施設使
用許可書を発行・送付)



⑥撤収・搬出作業で 完了！



展示に必要な道具
や器材、展示台やワイ
ヤー、吊り下げ金具な
どの什器、また、脚立
や台車などもお使いい
ただけます。
貸ギャラリーについ
てまとめた手引きがあ
ります。当館ホームペ
ージの「貸ギャラリー」
をご覧になるか、詳細
については
当館までお
問い合わせ
ください。



貸ギャラリーのご案内

美術館での本格的な展示はいかが？

リリア美のシリーズ企画

リア美のシリーズ企画

N.E.blood 21

って何？

リア美の企画は
美術・民俗・震災
など多様です。



N.E.blood 21

観覧 無料

(エヌ・イー・ブリード21)

「N.E.blood 21」は、東北・北海道在住の若手作家を紹介するシリーズ企画展で、2002(平成14)年からスタートした長寿企画です。

インパクトのあるタイトルですが一見しても難解な部分があるので解説しますと、「N.E.」はNorth Easternの略で、日本の北東部に位置する「東北・北海道地域(＝当館の研究対象地域)」を指しています。「blood(ブラッド)」は、直訳すると「血」ですが、他にも「血筋、活力、気質、情熱」といった意味があります。「21」は21世紀の意味で、これからのアート界を背負い、未来をつくる若手世代を指しています。

東北・北海道の地で制作することで、作品に立ち現れる気質や原風景のようなものを追求し、同時に作家同士のネットワーク作り、美術館と作家との新しい関係性作りを目的としています。

企画を立ち上げてから20年以上。これまでに87人の作家さんをご紹介してきました。これだけ多くの人数が続くシリーズ企画は全国でも稀な事例です。当館では現在、目前に迫った100人目の展覧会開催を目指しています。

近年では、展示の様子や作家さん・作品の紹介、見どころなどをYouTubeを通じて発信していますのでチェックしてみてください。
今年度も選りすぐりの「新進気鋭」作家を紹介しますのでどうぞお楽しみに。



作品を解説する狩野氏

2023年開催の「狩野宏明展」の紹介動画の一部

作品の解説のほか、来場者へ向けたひと言や会場の様子など様々な情報を併せて紹介している。



パンフレットを無料で配布しています



食と地域の暮らし展

観覧 無料

リアス・アーク美術館の民俗・歴史分野の企画展覧会として、2007(平成19)年より隔年で開催しているシリーズ企画です。気仙沼・南三陸圏域の食文化、生活文化を足元から捉えなおす試みを重ねてきました。これまでに漁業や水産物の加工、流通に関する資料展、昭和の暮らし写真展、海の暮らしに対する山の暮らしを紹介した展覧会など、8回開催してきました。

今回の開催は令和8年。第9回展では気仙沼の中心地として栄えた市役所周辺、内湾付近の歴史を主題とする予定です。どうぞお楽しみに。



令和7年度

今後の企画展予定

6月14日(土)～8月24日(日)

N.E.blood 21
Vol.88 森島久枝展

岩手県在住で、動物をモチーフとした可愛らしい小型のブロンズ像を制作している作家さんです。鳥やサル、うさぎ、カメレオンなどのブロンズ像約25点を展示します。

N.E.blood 21
Vol.89 浅野友理子展

多賀城市在住で、訪れた土地の植物や人々の暮らしを題材に描く作家さんです。本展では気仙沼を描いた新作を含む絵画25点を紹介します。



「ツキノワグマ」 森島久枝/2022年
H70×W50×D50mm/ブロンズ、金箔



「土の戯れ」 浅野友理子/2024年/パネルに和紙、油彩、水干絵具、岩絵具/1455×1120mm

9月25日(木)～11月3日(月祝)

新！方舟祭2025

当館主催の市民参加型文化祭。表現活動を行う方々の絵画・写真・手工芸等の展示や楽器演奏会等を週替わりで紹介いたします。

11月15日(土)～12月27日(土)

リアス・ジュニア絵画コンクール展

気仙沼市・南三陸町の小学生を対象とした絵画公募展。夏休み明けに学校を通じて作品を募集します。

令和8年 2月7日(土)～3月22日(日)

N.E.blood 21
Vol.90 釣舟富紀子展

(塩竈市在住・絵画)

N.E.blood 21
Vol.91 永沢碧衣展

(秋田県在住・絵画)

*他にも共催展が多数予定されています

すべて無料です。



リアス・アーク美術館の移管について

令和8年度から気仙沼市へ移管

リアス・アーク美術館の管理運営は、気仙沼市と南三陸町の一市一町(圏域※)で構成する気仙沼・本吉地域広域行政事務組合が担っていますが、次年度からの気仙沼市への移管に向け準備が進んでいます。

※開館の平成6年当時、圏域は気仙沼市、志津川町、津山町、本吉町、唐桑町、歌津町の一市五町で構成。

当時設立した基金残高の減少と各市町の出資金を財源とする次期活動計画の策定が困難なことから、現行の活動計画が終了となるタイミングでの移管となります。

円滑な移管に向け、昨年度から「リアス・アーク美術館移管準備担当者検討委員会」を設け、さらに、規約や条例の制定や改廃、組織機構・運営体制などの確認や課題を解決する複数の部会により、各種の対応方針・方策等の検討を進めています。

本年度内に移管の準備が整い、令和8年4月から気仙沼市による管理運営がスタートする予定となっています。



リアス・アーク美術館外観

常設展見学モデルー遠足や校外学習にも

■ピンポイントコース(30分〜1時間)

お目当ての常設展の観覧(学芸員解説も可)

社会科 「昔の道具」・「地域の産業や歴史」など

美術科 「美術作品鑑賞」・「素材と表現」など

生活・総合 「震災から学ぶ」・「減災学習」など

■ゆったりコース(目安2〜3時間)

常設展と企画展を観覧▼レストランで昼食や喫茶▼建築の観賞▼ショップでお買い物

例 企画展鑑賞「○○展」▼美術・民俗常設展観覧

▼昼食(レストラン)▼震災常設展観覧

¥0で楽しむ美術館(入館のみなら**無料**)

館内と館周辺の散策・展望台での記念撮影・建築、屋外作品観賞・中庭でお弁当ランチなど。

出前授業のご案内ー講師料は**無料**です

学校の先生！行事の幹事さん！当館学芸員を講師とする講座はいかがですか？ジャンルは美術・工作・地域文化・歴史・民俗・震災など幅広く、メニューもたくさんあります。講師料や交通費は無料。内容や時間などは応相談。ご希望などをお伺いします。詳細はホームページの「美術館からのお知らせ」から「出前授業」をクリックし参照ください。

ご利用案内

開館時間	9:30~17:00(最終入館は~16:30)																		
休館日	毎週月・火曜日/祝日の翌日(土・日・祝日を除く)/月曜祝日振替休館(当該週の水曜日)/GW振替休館(5月後半)/年末年始・メンテナンス休館(12月末~1月中旬頃)																		
入館料	無 料																		
観覧料	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">■常設展 (団体は20名以上)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>個人</th> <th>団体料金</th> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>700円</td> <td>600円</td> </tr> <tr> <td>大学・短大 専門学生</td> <td>600円</td> <td>500円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>500円</td> <td>400円</td> </tr> <tr> <td>小・中学生</td> <td>350円</td> <td>250円</td> </tr> </table>	■常設展 (団体は20名以上)			区分	個人	団体料金	一般	700円	600円	大学・短大 専門学生	600円	500円	高校生	500円	400円	小・中学生	350円	250円
	■常設展 (団体は20名以上)																		
区分	個人	団体料金																	
一般	700円	600円																	
大学・短大 専門学生	600円	500円																	
高校生	500円	400円																	
小・中学生	350円	250円																	
	<p>※フリーパスポートで園域内小・中学生、高校生は無料</p> <p>※常設展は3種ご覧になれます。 ■企画展=展覧会ごとに設定 ■共催展等=基本無料</p>																		

※療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその介護者1名は常設展無料、企画展半額。身体障害者手帳をお持ちの方、及び障害の程度が一級または二級の方の介護者1名は、常設展無料、企画展半額。



お問い合わせ先

リラス・アーク美術館

気仙沼市赤岩牧沢1388-5
 (気仙沼市総合体育館「ウエーブ」そば)
 電話 0226-24-1611
 FAX 0226-24-1448
 Eメール riasark@mifty.com



アクセス

三陸自動車道「気仙沼中央IC」から約5km(仙台市から約115km/石巻市から約70km/陸前高田市から約25km)、東北自動車道「一関IC」から約50km ◆無料駐車場あり(普通37台大型5台)

東北新幹線「一関」(大船渡線)ー「気仙沼」(気仙沼) ※気仙沼駅からタクシー(約15分)をご利用ください。 ※「タクシー割引券」と「常設展観覧券引換券」のセットクーポン券が気仙沼駅前観光案内所、気仙沼市観光協会(電話:0226-22-4560)で販売中。 ※現在、気仙沼線「前谷地」気仙沼、「大船渡線」盛「気仙沼」間はBRT運行。 *仙台ー気仙沼、一関ー気仙沼間で高速バス運行中。

アクセスマップ



お問い合わせ先/気仙沼・本吉地域広域行政事務組合
 〒988-0104 宮城県気仙沼市赤岩五枝蔵43番地2
 TEL:0226-22-9111/FAX:0226-22-8008
 Email:kouiki@km-fire.jp

